

(資料 R8. 10. 1)

水稻の刈取り状況（9月30日現在概況速報）について

1 水稻の刈取り状況（各農業改良普及センターによる一斉調査）

- (1) 9月30日現在、県全体の水田の48%で刈取りが終了しています。地帯別では、北上川上流47%、北上川下流49%、東部35%、北部45%となっています。
- (2) 刈取り盛期（50%）は、平年より1日早い10月1日頃になると見込まれます。

表1 県内水稻の刈取り状況（9月30日現在、各農業改良普及センター調査）

	進捗率(%)			本年(月/日)			平年(月/日)			平年差(日)
	本年	平年	前年	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	盛期
北上川上流	47	38	66	9/22	[10/1]		9/22	10/3	10/14	[-2]
北上川下流	49	45	68	9/18	[10/1]		9/22	10/2	10/12	[-1]
東 部	35	48	77	9/22	[10/6]		9/21	9/30	10/12	[+6]
北 部	45	37	84	9/24	[10/3]		9/24	10/4	10/16	[-1]
県 全 体	48	43	69	9/19	[10/1]		9/22	10/2	10/13	[-1]

- 1) 県全体…地帯別の水稻作付面積比による加重平均。
- 2) 刈取り時期…始期：10%、盛期：50%、終期：90% の水田で終了した日。
盛期〔括弧書き〕は、平成28年～令和7年の10ヵ年の進捗率を基に推定した値。
- 3) 平 年…平成28年～令和7年の10ヵ年の平均値。

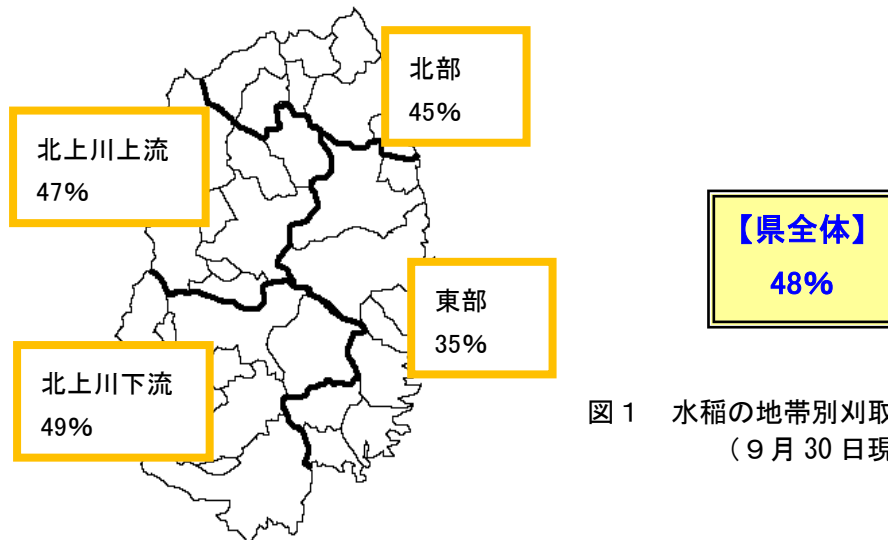


図1 水稻の地帯別刈取り状況
(9月30日現在)

2 当面の技術対策

- (1) 刈遅れは着色粒、胴割粒、白未熟粒の混入率を高めるので、速やかに刈取りを終えること。
- (2) 倒伏したほ場では、コンバイン等の作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- (3) 収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心がけること。
- (4) 粃の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
- (5) 自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。